

### 一般質問でのあいさつ

議場の先輩議員、同僚議員の皆さん、今村市長をはじめとする当局の皆さん、傍聴席の市民の皆さん、さくらFMをお聴きの市民の皆さん、インターネット中継をご覧の皆さん、こんにちは。かんの雅一です。

私は保守系無所属議員の集まりである「蒼士会(そうしかい)」という会派に入っています。

私は約30年間、産経新聞社に勤め、長く新聞記者をしてきました。その産経新聞社を今年1月、退社し、4月の選挙で初当選し、6月から議員として活動しています。

今回が初めての一般質問になります。伝統ある西宮市議会において先輩方とともに、市民の代表として一般質問をすることは大変な名誉であり、このうえなく光栄に思います。

私はこの感動、この喜びを生涯、忘れません。微力ながら西宮市のために全力をつくす決意です。ご指導よろしく申し上げます。



まさかず 保守系無所属

## 西宮市議会議員

# かんの雅一

かんの雅一は9月7日、西宮市議会9月定例会で議員になって初めての一般質問をしました。テーマは①防災対策について②市有地の活用にあたっての周辺住民への配慮について③都市計画道路網の見直しと甲子園浜の自然保護について④公民館、市民館及び共同利用施設の適正配置について⑤職員採用試験について⑥防犯対策について⑦道路の雑草対策について⑧の7項目。

### 9月定例会で初の一般質問

## 市が浜甲子園線の延長事業化に慎重姿勢

市当局は、貴重な甲子園浜の豊かな自然を守り、次世代に引き継いでいく方針に変わりはない。自然環境、住環境の保全や地域の理解が重要で、事業化は慎重に判断すべきだ」と答弁し、浜甲子園線延長の事業化には慎重に対応する方針を示しました。かんのは今後も延長計画の廃止に向けて活動を続けます。

### ネットで録画をご覧ください!

9月定例会は8月31日、開会し、平成27年度一般会計補正予算案や26年度決算案などを可決して10月2日、閉会しました。9月定例会から西宮市議会のホームページで本会議のインターネット中継が始まりました。録画を観ることもできます。かんのの一般質問をぜひ録画でご覧ください。次回の12月定例会は11月27日、開会する予定です。

## かんの新聞 第2号

ジャーナリストの視点で調べる・伝える

元産経新聞記者 上智大学卒 人の痛みがわかる 57歳

### 武庫川の洪水対策 徹底推進を

### 鬼怒川の教訓を生かせ! 早めの避難が大切

鬼怒川の氾濫と同じ降雨量なら、武庫川でも堤防が決壊する恐れがあります。安心できるまでの防災インフラが整うのはずっと先。早めの避難を心がけてください。



武庫川は兵庫県が総合的な治水対策として川底を掘り下げるなどの河川改修工事を実施しています。水を流す流下能力は現在、河口から上流3キロ付近で毎秒2600立方メートルと昭和62年に比べて1.7倍になっています。県は戦後最大の洪水だった昭和36年の洪水の流量毎秒3510立方メートル(甲武橋付近)を安全に流すための河川整備を平成42年度までに完了させる計画です。

### 新川などの洪水対策を推進

新川などの中小河川の洪水対策も重要です。新川の流下能力は毎秒29立方メートルで、20年に1度の大雨でも越水したり、堤防が決壊することはないとのこと。市は新川に流入する雨水量を調整するため、上流域の学校の校庭や公園での雨水貯留を強化する方針です。

市民の皆さんは市の防災マップやホームページの洪水ハザードマップで自宅や勤務先、学校などが浸水想定区域に入っているかどうか、指定避難所の位置などを確認してください。災害時に携帯電話

私は9月30日の市議会9月定例会の決算特別委員会総務分科会で武庫川などの洪水対策を取り上げました。今後①市として県の河川改修工事の推進を積極的に支援する②避難情報について発令体制や市民への伝達を万全にする③高齢者などの災害時要援護者の避難を地域で支援する体制を整える④新川などの中小河川やその流域において万全な洪水対策を実施する一などのあらゆる面から取り組みを進めます。



**お待ちしております!!**

西宮市政についての疑問や意見をぜひお聞かせください。かんの雅一が問題を丹念に取材しうえ、わかりやすく説明します。地元の集まりや趣味の会などで市政の現状について聴きたい場合もご連絡ください。かんのが出向いて市政報告をします。

定期送付のご案内

西宮市政報告「かんの新聞」は年間4回、発行し、南甲子園地区(市立南甲子園小学校の校区など)と周辺地域を中心に各戸配布し、西宮市内に配達する産経新聞朝刊に折り込みとして入れます。それ以外の方、ビラ配布禁止の集合住宅にお住まいの方、確実に入手したい方には定期的に送付します。下記●印の必要事項を記載いただき、お申し込みください。市政へのご意見、ご要望や「かんの新聞」のご感想もお書きいただければ、うれしいです。

●「定期送付希望」●郵便番号●ご住所●お名前●生年月日●ご連絡先電話番号●メールアドレス

はがき宛先 〒663-8153西宮市南甲子園3-4-51-101 FAX・メールでのお申し込みはかんの雅一宛 本紙最下段に記載の宛先まで

**言葉の解説**

一般質問とは、議員が本会議場で行う質問の1つで、市の一般事務全般について質問できます。質問する議員は質問内容の要旨を事前に議長に通告し、市長をはじめとする市当局に知らせます。各会派に割り当てられた時間内で質問します。本会議場で行う質問としては、新しく就任した市長の所信表明や、当初予算を審議する議会における市の施政方針に対して行う代表質問もあります。

本名:菅野 雅一(かんの・まさかず)

新聞記者として約30年間、培った経験を生かし、「市民の声を誰よりも取材し、わかりやすく伝える政治家」を目指す。西宮在住歴は約23年。南甲子園3丁目のマンションで大好きな妻と2人暮らし。

**かんの雅一 事務所**

〒663-8153 西宮市南甲子園3丁目4-51-101  
 〒663-8156 西宮市甲子園網引町5-7  
 TEL:090-1895-1488 FAX:0798-40-9530 (MAIL) info@kannomasakazu.com

次号は平成28年1月の発行予定です

●詳しい政策はホームページへ [www.kannomasakazu.com](http://www.kannomasakazu.com)

かんの雅一 検索

### 一般質問の主なやりとり

質 … かの雅一の質問  
答 … 西宮市の答弁

## 津波避難ビルの確認を

### ●防災対策について

**質** 南海トラフ巨大地震を想定した津波避難ビルについて多くの市民はあまり知らず、円滑に避難できないのでは。

**答** 日ごろから津波避難ビルの場所と入り口を確認していただくことが必要と考えています。防災の出前講座や講習会で避難ビルの確認を啓発しており、地域主催の防災訓練でも呼びかけます。

## 通園通学路の安全確保に全力を

### ●市有地の活用にあたっての周辺住民への配慮について

**質** 甲子園警察署は甲子園七番町の現庁舎について耐震改修工事を行うことになり、市は工事期間中に執務を行う仮設庁舎の用地として南甲子園3丁目の市営住宅跡地を貸与しました。仮設庁舎の建設工



◆網引市民館



◆西宮市議会9月定例会



◆建設中の甲子園警察署の仮設庁舎

事は7月から始まり、11月から約1年間、執務を行います。周辺は狭い生活道路だけで、近隣の幼稚園や学校の通園通学路になっており、交通安全対策に万全を期してほしい。

## 素案を示し、議論へ

### ●公民館、市民館及び共同利用施設の適正配置について

**質** 市は公民館や市民館、共同利用施設の統廃合について検討に入りました。これらの施設は地域活動の大切な場であり、統廃合については慎重に検討すべきです。

**答** 通園通学時間帯には警察官が配置されるということです。子供たちの登下校時における交通安全指導の徹底について教育委員会と連携して取り組みます。

**質** 仮設庁舎は執務期間終了後、撤去されます。市はこの土地の活用について計画を決める前に、周辺住民の意向を聴いてほしい。

**答** この土地については、小学校区の公共施設の配置状況を勘案しながら全庁的に検討します。具体的な活用方法がない場合には、売却処分を基本とすることになります。基本方針が決まった段階で地域に説明し、理解を得ながら具体化します。

## 優秀な人材確保を強調

### ●職員採用試験について

**質** 市は本年度の大学卒程度の事務職員採用試験について1次試験で受験生全員に対する面接試験を導入しました。1次から最終の3次まで一貫して担当者の主観が入る面接が行われ、試験の客観性や公平性の確保について不安視する声も出ています。

**答** 大変優秀な方々に受験していただき、満足な採用ができると考えています。誰か一人の面接官の恣意的な裁量で合格や不合格がなされないようになっています。

## 子供の深夜徘徊をなくそう

### ●防犯対策について

**質** 大阪府寝屋川市の中学1年生の男女が遺体で見つかった事件はとても痛ましい。事件の背景にある子供の深夜の徘徊をなくすために市や地域社会は何をすべきでしょうか。

**答** 青少年補導委員や各種団体が子供たちの見守りや声かけを実施し、青色回転灯を装備した街頭補導車(青パト)が市内を巡回しています。啓発や活動の一層の充実に努めます。



◆青パト

**質** この事件の犯人逮捕の決め手は防犯カメラでした。市が防犯カメラの設置で商店街に補助する制度があります。条件は設置費用の総額が100万円以上で、補助額は対象経費の3分の1まで。県にも同様の制度があり、併用が可能です。

### かんのコラム 2

## 防犯灯が市の直営に

西宮市は防犯協会の支部や分会を構成する自治会などが設置して管理している市内の防犯灯について平成28年4月に市の直営にする方針です。約2万1000灯の全防犯灯のうち、私道などの私有地にあるとみられる約5000灯は直営化の条件から外れており、この扱いが焦点になっています。

市は直営化したうえ、電球を電力使用量の少ないLED(発光ダイオード)に替えることで費用削減を図る方針。市は私有地にある防犯灯について、できるかぎり公道の電柱などに移したうえで、直営化したい考え。公道上に移せない防犯灯の扱いについては、自治会などと十分に協議したいとしています。

市は自治会などに出している防犯灯についての補助金制度を28年3月末で廃止することにしています。このため、協議がまとまらない場合、私有地の防犯灯が撤去され、犯罪を誘発する暗い空間が生じないかと危惧する声が出ています。



◆防犯灯

## 学童保育の施設不足が深刻

西宮市の学童保育施設である留守家庭児童育成センターへの入所希望児童が急増しています。共働き家庭が増えたため、市は「弾力運用」として定員を超える「最大受け入れ人数を設定。60施設中31施設が現在、定員を超える児童を受け入れており、施設不足が深刻な状態になっています。

市立南甲子園小学校の校区では、学校の敷地内に南甲子園育成センター



◆南甲子園育成センター

1として2施設があり、それぞれ定員40人にもかわらず、48人と44人の児童を受け入れています。来年度以降も「最大受け入れ人数」の範囲内で全員を受け入れることができる見通し。今津小の校区では、定員が60人で「最大受け入れ人数」が65人の施設に68人の入所希望があったため、一時的に待機児童が発生し、今は今津小の教室を活用して受け入れていますが、来年度以降も再び待機児童が発生する恐れがあります。

甲子園浜小の校区には定員40人の2施設があり、それぞれ36人と38人を受け入れています。来年度以降も全員を受け入れることができる予定です。